

編集後記

著者	白石 恵理
雑誌名	世界の日本研究
巻	2015
ページ	248
発行年	2016-05-31
URL	http://id.nii.ac.jp/1368/00006381/

編集後記

世界の研究者ひとり一人が長い時間をかけて実らせた豊饒な知の成果を前にするとき、現在の日本を取り巻く閉塞感と、近視眼的な経済効率を優先する、余裕のない社会構造に暗澹たる気持ちにさせられます。しかし一方で、人間がいる限り、人の思想・文化・社会を研究する学問はけっしてなくなるという思いも強くします。次世代の学問分野や研究対象の幅を狭めるような事態だけは招きたくありません。

本号の編集にあたり、Raquel Hill 博士と Patricia Fister 教授には前号同様、英文校正で大変お世話になりました。原稿とりまとめには輝川尚子氏にご尽力いただきました。また、編集委員の松田利彦教授、海外研究交流室長（当時）の瀧井一博教授から貴重なご助言をいただきました。記して感謝申し上げます。

白石 恵理